

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

多様性が生きる社会



～人権としての言語から考える～

生物の多様性の危機と軌を一にするかのように言語の多様性が急速に失われていますが、それがどうして問題なのでしょう。 「言語権」の問題は、実はSDGsや開発教育にも密接に関わっています。「英語を話す＝グローバル人材」に疑問を投げかけてきた講師と、言語に関する世界の現状や課題を共有したうえで、戦争責任や難民の受け入れなど、日本とも共通する多くの課題と向き合ってきたドイツを例として取りあげ、多文化共生とは何かを考えます。

講師：木村 護郎クリストフさん

(上智大学外国語学部ドイツ語学科／グローバルスタディーズ研究科国際関係論専攻)

日時：2019年 **9月7日** (土) 16:00 ～ **8日** (日) 12:00

場所：関西セミナーハウス

参加費：10,500円 (1泊夕朝食込み) © 2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。(1,150円)

- * 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りについてご要望のある方はお問合せください。
- * Webサイト(申込フォーム)、Fax(裏面書式)、電話、メール等でお申込みください。
- * 申込締切：9月1日(日)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)
- * 部分参加については事務局にお問合せ下さい。
- * 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

木村 護郎クリストフ きむら ごろうくりすとふ

上智大学外国語学部ドイツ語学科教授

1974年名古屋市生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科教授、大学院国際関係論専攻主任。一橋大学大学院博士課程修了。博士(学術)。社会を形成・運営する基盤としての言語とエネルギーについて、主にドイツと日本の言語的少数者や隣国との関係、エネルギー転換に関して研究・教育・実践活動を行う。

主な編著書に『節英のすすめ－脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギ!』、『多言語主義社会に向けて』、『ことばへの権利－言語権とはなにか』、『ドイツとスイスから考える環境・エネルギー問題へのアプローチ』、共著に『言語的近代を超えて－<多言語状況>を生きるために』、『<やさしい日本語>と多文化共生』など。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付
 16:00 ~ 【第1セッション】 地球上の言葉は今
 ・キーワード自己紹介
 ・アクティビティ「もしも無人島に行ったなら」
 ・木村さんのお話とディスカッション
 18:00 ~ 夕食
 19:00 ~ 【第2セッション】 多言語主義社会とは？
 ・木村さんのお話とディスカッション
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食
 9:00 ~ 【第3セッション】 ドイツを通して日本を見る
 ・目覚めのアクティビティ
 ・木村さんのお話とディスカッション
 隣国との和解について
 難民の受け入れについて
 12:00 終了予定

セミナー期間中、
開発教育関連書籍
の販売があります。



◇ 2019年度 開発教育セミナー

第4回 10月26日(土)～27日(日) 「忘却を乗り越える～足尾鉍毒問題とフクシマ」

講師 菅井 益郎さん (渡良瀬川研究会代表)

第5回 11月 30日(土)～12月 1日(日) **フィールドワークあり<八瀬・岩倉エリア>**

「在日コリアンの歴史から学び、未来を考える」

講師 水野 直樹さん (元京都大学教授、同志社大学非常勤講師)

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木 (とき)



[2019年度 第3回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)	
名前	(男・女) 所属
住所〒	
電話 ()	- FAX () -
電子メール:	@
通信欄	